

田んぼの学校（草取りと生き物観察）

柏崎周辺農業水利事業所

梅雨時とは思えない好天に恵まれた6月21日(土)、市野新田ダムの地元である柏崎市女谷地区で田んぼの学校が開催されました。今日は、1ヶ月前に植え付けた田んぼの草取りと、湿地・小川の生き物観察です。ブト(ブユ)対策の虫除けスプレーをかけ合い、匂いを漂わせて出発です。

田んぼの草取りは、はじめに農家の方から稲とヒエの見分け方を教えてもらい、親子連れなど約30人が裸足などで約1時間、賑やかに作業を行いました。



人海戦術で並んで草取り！



タモ網に何が捕まるかな



ドジョウやカエルでいっぱい



興味津々「先生これは、何!？」

その後近くの湿地と小川に移り、手で触ってはいけない昆虫など注意事項を教えてください、一斉に生き物観察を始めました。タモ網で蛙を捕獲する小学生や、深みで希少種を探す元少年など、予定時間は瞬く間に過ぎました。

今回の観察では、絶滅が危惧されているホトケドジョウが2匹確認されました。同定した柏崎博物館の学芸員もやや興奮気味で、貴重なサンプルとして展示されるそうです。また、水のきれいな川にしか生息しないスナヤツメも確認され、清流鶉川を改めて実感しました。

事業所ではこの取り組みをはじめ地域の活動に積極的に参加し、地域の皆さんの生の声を聴きながら事業に取り組んでいきます。

(原稿作成：K)